

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年07月06日

計画の名称	安心・安全なまちづくり												
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○	
交付対象	西尾市												
計画の目標	<p>本市は、東海地震に係る地震防災対策強化地域及び南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されており、平成26年5月に愛知県から発表された「愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査結果（過去地震最大モデル）」では、最大震度7、最大津波高5.1m（佐久島）4.4m（本土側）、浸水面積（浸水深1cm以上）5,155ha（市域の約3分の1）、避難者数は70,000人そして犠牲者数は1,800人と深刻な被害が予測されている。</p> <p>さらに、矢作川や矢作古川などの河川が市内を流れているため、洪水による被害も想定されており、さらなる防災対策の強化が急務となっている。そのため、小中学校等周辺において、子どもの安全対策を通学路等で実施することにより防災性と子どもの安全性を総合的に向上させる。</p> <p>本計画では、災害発生時の初期段階における避難活動に役立てるため、津波避難施設、災害用トイレ及び防災倉庫等の整備を進め、安心・安全なまちづくりを目指す。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,459	A	1,244	B	0	C	215	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	14.73	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (R2末)	最終目標値 (R4末)
1	災害発生初期段階に、より円滑な避難活動が実施できる避難者数の増加を図る。 災害用トイレを整備することにより、災害時のトイレが確保された避難者の割合 災害用トイレの確保された避難者数 / 災害用トイレを確保すべき避難者数 × 100	52%	73%	100%
2	災害発生初期段階に、より円滑な避難活動が実施できる避難者数の増加を図る。 迅速に資機材が活用できるようになった避難者の割合 防災倉庫の整備が完了した避難所に収容する避難者数 / 防災倉庫を整備すべき避難所に収容する避難者数 × 100	61%	83%	100%
3	災害発生初期段階に、より円滑な避難活動が実施できる避難者数の増加を図る。 避難困難地域の解消率 避難困難地域が解消された地域 / 避難困難地域 × 100	0%	0%	41%
4	災害発生初期段階に、より円滑な避難活動が実施できる避難者数の増加を図る。 防災に対する意識の向上 市政世論調査での「とても関心がある・やや関心がある」の割合	91%	91%	92%
5	災害用トイレ等の整備とともに、災害時における混乱を想定した交通安全教育を行い、子どもの安全性を向上させる。 子どもの安全性が向上した小学校の割合 災害用トイレ等の整備及び交通安全教室を実施した小学校 / 災害用トイレ等の整備及び交通安全教室を実施すべき小学校 × 100	0%	60%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	西尾市	直接	西尾市	-	-	地区公共施設等整備(西尾地区、一色東部小・吉田小地区、志貴野地区、宇野津地区)	災害用トイレ135基、防災倉庫23基、津波避難施設4基、防災センター1か所、フェンス等の設置1か所	西尾市						1,244	-	
												小計						1,244	
											合計						1,244		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	C13-001	都市防災	一般	西尾市	直接	西尾市	-	-	災害用トイレ整備事業	災害用トイレで使用する上部 構造物の整備	西尾市						56	-	
		災害用トイレの整備にあわせて、上部構造物を整備し、トイレ機能の向上を図る。																	
	C13-002	都市防災	一般	西尾市	直接	西尾市	-	-	通学路等改善事業	カーブミラー・ガードレール の設置、側溝の蓋掛け、カラ ー舗装等	西尾市						1	-	
		通学路等におけるカーブミラー・ガードレールの設置、側溝の蓋掛け、カラー舗装等の整備により、避難所への通行の安全性向上を図る。																	
	C13-003	都市防災	一般	西尾市	直接	西尾市	-	-	洪水ハザードマップ作成 事業	洪水ハザードマップの作成	西尾市						32	-	
		防災センターの整備にあわせて洪水ハザードマップを作成し、市民の水防災意識の向上を図る。																	
C13-004	都市防災	一般	西尾市	直接	西尾市	-	-	津波ハザードマップ作成 事業	津波ハザードマップの作成	西尾市						22	-		
	津波避難施設の整備にあわせて津波ハザードマップを作成し、市民の防災意識の向上と適切な津波避難行動の周知を図る。																		
C13-005	都市防災	一般	西尾市	直接	西尾市	-	-	津波避難誘導看板設置事 業	津波避難誘導看板の設置	西尾市						24	-		
	津波避難施設の整備にあわせて津波避難誘導看板を設置し、市民一人ひとりの適切な津波避難行動の実現を図る。																		
C13-006	都市防災	一般	西尾市	直接	西尾市	-	-	内水ハザードマップ作成 事業	内水ハザードマップの作成	西尾市						33	-		
	防災センターの整備にあわせて内水ハザードマップを作成し、市民の防災意識の向上と適切な避難行動の周知を図る。																		

C 効果促進事業

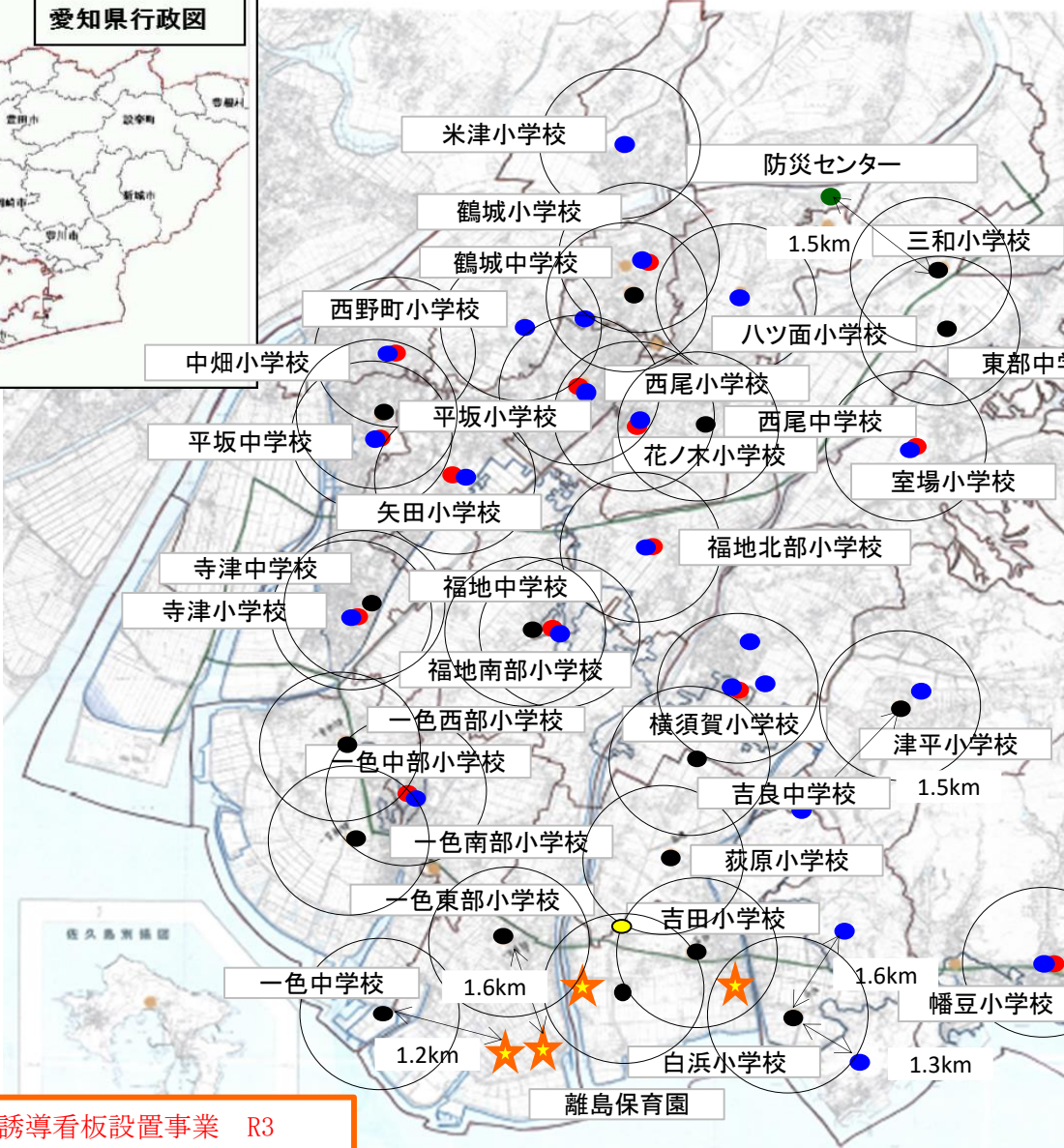
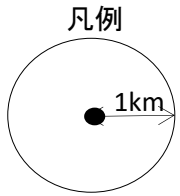
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	C13-007	都市防災	一般	西尾市	直接	西尾市	-	-	土砂災害ハザードマップ 作成事業	土砂災害ハザードマップの作 成	西尾市						16		-	
		防災センターの整備にあわせて土砂災害ハザードマップを作成し、市民の水防災意識の向上を図る。																		
	C13-008	都市防災	一般	西尾市	直接	西尾市	-	-	高潮ハザードマップ作成 事業	高潮ハザードマップの作成	西尾市						31		-	
		防災センターの整備にあわせて高潮ハザードマップを作成し、市民の水防災意識の向上を図る。																		
												小計						215		
											合計						215			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 西尾市危機管理局において実施	事後評価の実施時期 事業終了後、令和5年6月実施
	公表の方法 西尾市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	避難困難地域に津波避難施設を整備するなど災害発生時の初期段階における避難行動の課題解消に繋がった。 また、災害用トイレや防災倉庫の整備をすることで避難所におけるトイレの確保、備蓄の充実が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
市内全ての避難困難地域を解消するため、津波避難施設の整備を進めていく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	災害用トイレを整備することにより、災害時のトイレが確保された避難者の割合	
	最終目標値	100%
最終実績値	100%	
2	迅速に資機材が活用できるようになった避難者の割合	
	最終目標値	100%
最終実績値	100%	
3	避難困難地域の解消率	
	最終目標値	41%
最終実績値	41%	
4	防災に対する意識の向上	
	最終目標値	92%
最終実績値	89%	
5	子どもの安全性が向上した小学校の割合	
	最終目標値	100%
最終実績値	100%	

計画の名称	安心・安全なまちづくり		
計画の期間	平成30年度 ~ 令和4年度 (5年間)	交付対象	愛知県西尾市



A13-001 災害用トイレの整備 H30-R4  
● : 整備箇所

C13-001 災害用トイレ整備事業 H31-R4

C13-002 通学路等改善事業 H30

A13-001 フェンス等の設置 R3-4  
● : 整備箇所

A13-001 防災倉庫の整備 H31-R4  
● : 整備箇所

A13-001 防災センターの整備 H31  
● : 整備箇所

C13-003 洪水ハザードマップ作成事業 R2-3

C13-006 内水ハザードマップ作成事業 R3-4

C13-007 土砂災害ハザードマップ作成事業 R4

A13-001 津波避難施設の整備 R2-4  
★ : 整備箇所

C13-004 津波ハザードマップ作成事業 R2

C13-005 津波避難誘導看板設置事業 R3

● : 事業箇所以外の小学校等